

# APIを使用してSMAのSL/BLに送信者を追加

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[セーフリストのGETおよびPOST](#)

[GET](#)

[POST](#)

[ブロックリストのGETおよびPOST](#)

[GET](#)

[POST](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、APIおよびcurlコマンドを使用してSecure Management Appliance(SMA)のセーフリスト/ブロックリスト(SL/BL)に送信者を追加する設定について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Secure Management Appliance(SMA)
- APIに関する知識
- スпам検疫に関する知識
- セーフリスト/ブロックリストの知識

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Security Management Appliance(SMA)、AsyncOSバージョン12.0以降。
- クライアントまたはプログラミングライブラリのcURL。これは、APIからの応答を解釈するためにJSONをサポートする必要があります。
- AsyncOS APIにアクセスするための認可。
- 中央集中型のスパム検疫。
- セーフリストとブロックリストが有効になっています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

APIサービスの主な目的は、SMAからレポートと設定情報を取得することです。

スパム検疫からセーフリストおよびブロックリスト情報を取得したり、API cURLクエリを使用して新しいユーザを追加したりできます。

## 設定

### セーフリストのGETおよびPOST

#### GET

このクエリは、セーフリストから情報を取得します。この情報は、`sma1.example.com` はSMAホスト名で、`admin`はユーザ名です。

```
curl --location --request GET
```

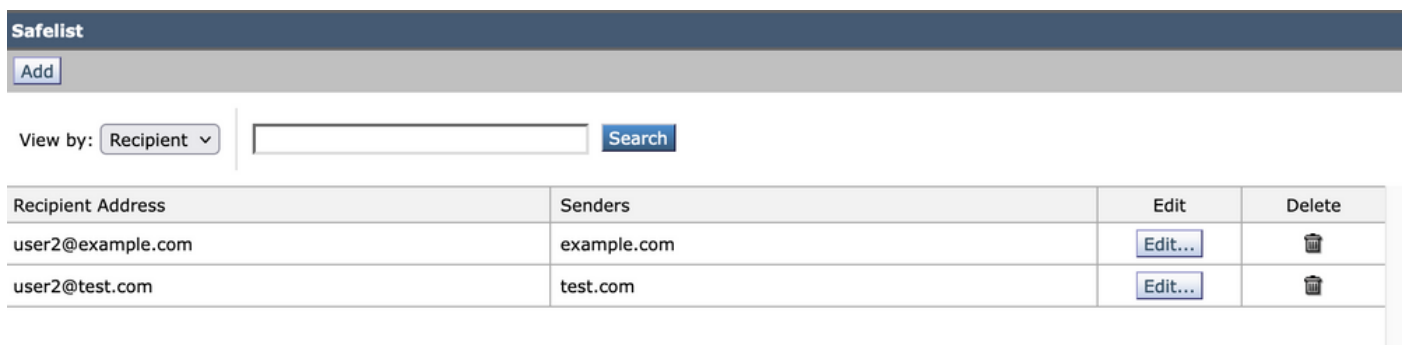
```
'https://sma1.example.com/sma/api/v2.0/quarantine/safelist?action=view&quarantineType=spam&viewBy=recipient' -u admin
```

該当するユーザのパスワードを入力します。

出力は次のようになります。

```
{"meta": {"totalCount": 2}, "data": [{"senderList": ["example.com"], "recipientAddress": "user2@example.com"}, {"senderList": ["test.com"], "recipientAddress": "user2@test.com"}]}
```

GUIセーフリストは次の図のように表示されます。



Recipient Address	Senders	Edit	Delete
user2@example.com	example.com	<a href="#">Edit...</a>	
user2@test.com	test.com	<a href="#">Edit...</a>	

GUIセーフリストの出力

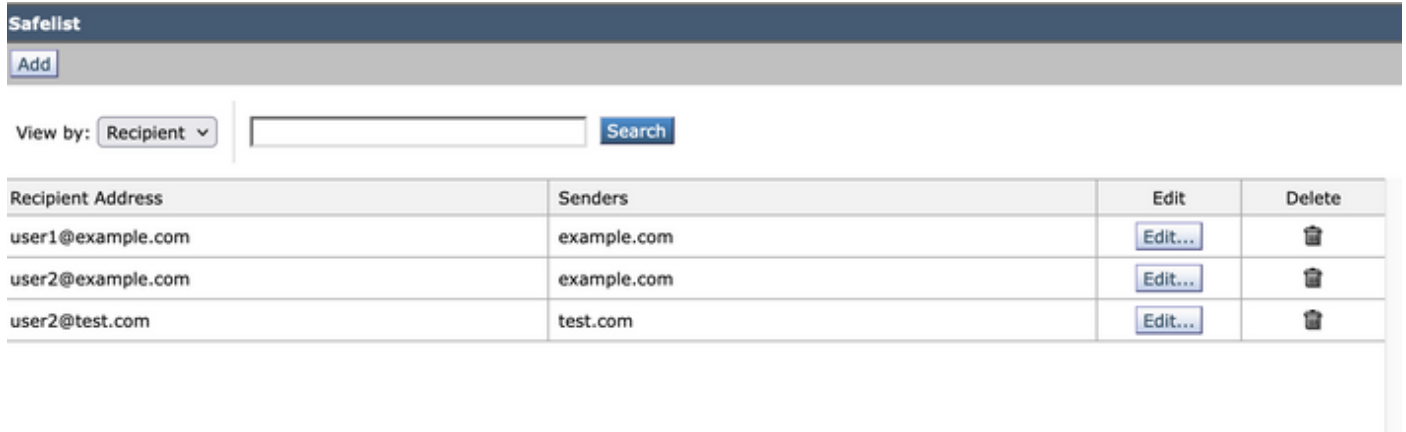
#### POST

このクエリは、送信者の情報をセーフリストに追加します。`sma1.example.com` はSMAホスト名で、`admin`はユーザ名で、`user1@example.com`は新しい受信者です。`example.com` はセーフリストの送信者です。

```
curl --location --request POST 'https://sma1.example.com/sma/api/v2.0/quarantine/safelist' -u admin --data-raw '{
"action": "add",
"quarantineType": "spam",
"recipientAddresses": ["user1@example.com"],
"senderList": ["example.com"],
"viewBy": "recipient"
}'
```

このコマンドを実行し、対象のユーザのパスワードを入力します。

GUIセーフリストは次の図のように表示されます。



Recipient Address	Senders	Edit	Delete
user1@example.com	example.com	<a href="#">Edit...</a>	
user2@example.com	example.com	<a href="#">Edit...</a>	
user2@test.com	test.com	<a href="#">Edit...</a>	

GUIセーフリストの出力

## ブロックリストのGETおよびPOST

### GET

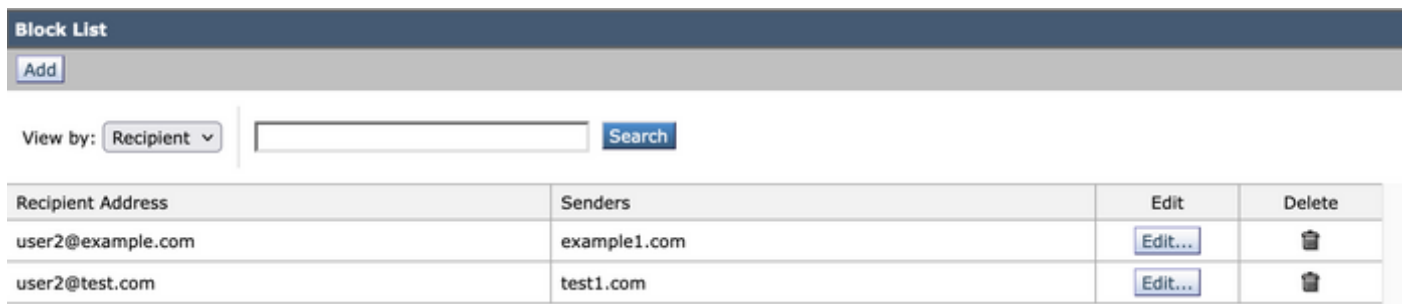
このクエリは、セーフリストから情報を取得します。ここで、 `sma1.example.com` はSMAホスト名で、 `admin`はユーザ名です

```
curl --location --request GET
'https://sma1.example.com/sma/api/v2.0/quarantine/blocklist?action=view&quarantineType=spam&viewBy=recipient' -u
admin
```

出力は次のようになります。

```
{ "meta": { "totalCount": 2 }, "data": [ { "senderList": [ "example1.com" ], "recipientAddress": "user2@example.com" },
{ "senderList": [ "test1.com" ], "recipientAddress": "user2@test.com" } ] }
```

GUIセーフリストは次の図のように表示されます。



Recipient Address	Senders	Edit	Delete
user2@example.com	example1.com	<a href="#">Edit...</a>	
user2@test.com	test1.com	<a href="#">Edit...</a>	

GUIブロックリストの出力

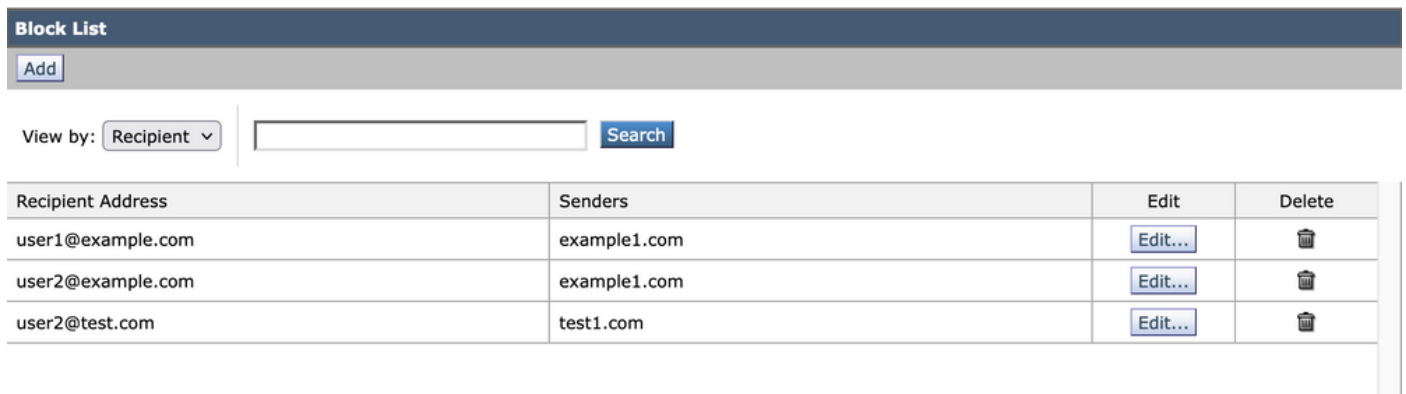
### POST

このクエリは、送信者の情報をセーフリストに追加します。 `sma1.example.com` はSMAホスト名で、 `admin`はユーザ名で、 `user1@example.com`は新しい受信者で、 `example1.com` はブロックリストの送信者です。

```
curl --location --request POST 'https://sma1.example.com/sma/api/v2.0/quarantine/blocklist' -u admin --data-raw '{
"action": "add",
"quarantineType": "spam",
"recipientAddresses": ["user1@example.com"],
"senderList": ["example1.com"],
"viewBy": "recipient"
}'
```

このコマンドを実行し、対象のユーザのパスワードを入力します。

GUIセーフリストは次の図のように表示されます。



The screenshot shows a web interface titled "Block List". At the top left, there is an "Add" button. Below it, there is a "View by:" dropdown menu set to "Recipient", followed by a search input field and a "Search" button. The main content is a table with the following data:

Recipient Address	Senders	Edit	Delete
user1@example.com	example1.com	<a href="#">Edit...</a>	
user2@example.com	example1.com	<a href="#">Edit...</a>	
user2@test.com	test1.com	<a href="#">Edit...</a>	

GUIブロックリストの出力

## 関連情報

- [プログラミングガイドSMA](#)
- [エンドユーザガイドSMA](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。